

みの～れ芸術展本格始動！！

やるんだったら とことん本気で

梅雨に入り、紫陽花の美しい季節になった。震災から3ヶ月が経ち、暑い夏を乗り切るためのグリーンカーテン用に植えたゴーヤやふうせん、かずらが少しづつ大きくなっていく。数年前に可愛らしい色合いのカーネーションを栽培する沼田さんのハウスを訪ねた。そして今回はみの～れで沼田さんと再会した。第8回みの～れ芸術展の実行委員長を務める中延地区にお住まいの沼田弘樹さん取材する。



中延区に在住。「なにかするなら楽しまなきゃもったいない。一度きりの人生なんだから」と素敵な笑顔で話す沼田さん。

みの～れ芸術展実行委員長

みの～れ10歳記念事業実行委員会

沼田 弘樹 さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.48

沼田さんのお宅は、カーネーションを栽培している弘樹さんは3代目となる。数年前に私が取材をお願いした時、沼田さんは多忙の中、合間をぬって快く応じてくれた。沼田さんのお宅にある裏庭には、手作りのアスレチックがあり、澄んだ空気の中で娘さん達の笑い声が響いていた。まるで「トトロ」の森のように夢が沢山詰まっただけで素敵な場所だった。現在は娘さん達も高校生になり、沼田さんは毎日、中延地区の自宅から羽鳥駅間を2往復して、相変わらず忙しく機敏に動き回る父親の姿があった。

沼田さんの趣味はロッククライミングで、19歳の頃から始め現在も続けている。上の娘さんが中学生の時、スポーツクライミングの茨城県代表となり、沼田さんは監督・コーチを務め、国体で全国第2位の成績を修めた。選手と監督である以前に、とても仲のいい親子で羨ましいかぎりだ。時間があるときはつくば市まで練習に通ったり、自宅では筋トレをやっているという。沼田さんが、みの～れに関わるようになったのは市町村合併したとき、美野里地区の知人の紹介で、足を運ぶようになったという。「PTA活動が終わってみたら、パートさん以外と話さない日があった。ほとんど取り残されていくような気がしていたが、みの～れに来るようになって色々な人と話をし、活動範囲が広がった。こういう発見は、若いうちに知っておけばよかったなと思う。学校単位では知り合いになれなかった人と、繋がりができ楽しいものだ。」と話す。

また、沼田さんは、みの～れ芸術展の実行委員長を務める。「震災の後に逢ったみの～れ芸術展実行委員の人たちと再会したとき、同窓会みたいだね・・・と始まって色々話が盛り上がった。みの～れは行きつけの飲み屋みたいで気安く、楽しく足を運べる場所。40過ぎてからなかなか友達に出会えないと思っていただけ、ここなら出来ると思う」と話してくれた。

「PTA活動も終わり、子育ても一段落して今まではお手伝い程度でしたが、本格的にみの～れに入りこみそうだな」と気持ちのいい笑顔で話してくれた。

みの～れ10歳記念実行委員会や、小美玉市認定農業者連絡協議会会長とまだまだ忙しい日々が続く、沼田さんの今後の活躍が楽しみだ。

(藤田 佐知子)